

遠近両用眼内レンズのご案内

白内障手術後の生活で眼鏡を掛ける頻度が少なくなる、新世代の遠近両用眼内レンズが日本で発売されて約2年が経過しました。その成績の良さが徐々に認知され始め、全国的にこのレンズを取り入れる施設が増えてきており、当院眼科でも本格的に導入することになりました。

当初、保険が利かない自由診療^{※1}となります。通常ですと片眼40万円のご負担をお願いすることになりますが、先進医療届出には15症例を必要とするため、先着8名限定で片眼25万円^{※2}というモニター価格にて実施することとなりました。

金額だけを聞かれると「高い！無理！」と感じる方も多いと思いますが、すでに導入した施設の結果をみると、その値段以上の価値があるのでは？と眼科では考えています。

通常の眼内レンズ 見え方のイメージ
(遠くにピントを合わせた場合)



遠くにだけピントが合います。
近くの距離を見るにはメガネが必要です。

遠近両用眼内レンズ 見え方のイメージ



遠くと近くの2ヶ所にピントが合うので
メガネを掛けることが少なく済みます。

遠近両用眼内レンズを挿入すると・・・、

- ・ お化粧がとても楽になります。
- ・ お買い物の際、眼鏡を掛けずに売り場の案内や値札が見えるようになります。
- ・ ご旅行の際、眼鏡を持った？ 無くした？などを気にする事がなくなります。

ご興味を持たれた方はお気軽に眼科外来までご連絡下さい。このレンズについて説明した貸出用DVDもご用意していますので、ご自宅でご家族の皆様と一緒にご覧頂くことも可能です。ちなみに皮質白内障(核硬度2度まで)、軽度遠視から正視だった方、年齢は70歳まで、理解力のある方、男性よりは女性に、このレンズの満足度が高いといわれています。

【ご注意】 検査の結果によっては適応とならない場合もありますのでご了承下さい。

※1：自由診療とは、保険適用外の診療の事です。日本の場合、保険診療と自由診療を併用することは原則として禁止されているので、術前の検査・投薬から手術、術後の診察に至るまで、全てが自費となります。

※2：限定数終了後は片眼40万円となります。また来年度以降は先進医療(片眼35万円+保険診療自己負担分)で実施する予定です。